

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Copy for members

2021
April

4



ガバナー月信
Vol. 10

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



「みなとオアシス勝浦」として国交省より登録された美しい海岸・観光施設、観光立県ちば「ディスカバー千葉」を担う。

日本のロータリー 100 周年

田中 作次

日本から出た三人目の RI 会長 (2012-13 年度)。テーマは「奉仕を通じて平和を (Peace Through Service)」とされ、日々の積み重ねを通じた平和構築に向けて、ロータリアンや地域社会のリーダーの意欲を高めるために、ベルリン、ホノルル、広島でロータリー世界平和フォーラム (Rotary Global Peace Forum) を実施されました。

1975 年に埼玉県八潮 (やしお) ロータリークラブの創立会員として入会して以来、RI 理事、ロータリー財団管理委員のほか、2009 年バーミンガム国際大会委員長をはじめとする各種委員会の委員と委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、研修リーダーを歴任されました。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／母子の健康月間



ロータリーは機会の扉を開く

母子の健康月間によせて



国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦 RC)

ホルガー・クナーク RI 会長との Zoom ミーティング

さる 2 月中旬、日本のガバナーと地域リーダーが参加し、ホルガー・クナーク RI 会長との Zoom ミーティングが開催されました。私は光栄にも、辰野克彦 RI 理事より、クナーク会長へ質問や意見を申すようご指名をいただきました。当日私は、日本における女性会員数の伸び悩みについてお話申し上げ、2022 年 7 月には RI 初の女性会長が就任する事にも触れました。そして今後も RI の方から、地域で世界で良いことをするための仲間として、女性会員の増強を更に効果的に推進していただきたい旨を申しました。クナーク会長によると、母国ドイツでも女性会員のいないクラブがあるそうで、当方の悩みにご理解を示されました。そして会長は、年齢や性別を超え多種多様な人びとの集まりから生まれる、理念や行動の多様性 (Diversity) の大切さについて言及されました。いずれにしても私にとりまして、大変貴重な経験でございました。

母子の健康の現状

毎年、600 万人弱の 5 歳未満の子どもが、栄養失調をはじめ適切な医療や衛生設備の欠如により、命を落としています。ロータリーは、すべての母子が医療提供を正しく受け、共に健やかに成長出来ることを目標とし、「母子の健康」を重点分野の 1 つとしています。具体的には、清潔で安全な出産キットの寄贈、蚊帳の配布、移動式クリニックカーの贈呈など物品面での援助のほか、医療従事者に対し医療や出産に関する正しい知識を習得してもらうための教育も実施しています。

当地区での事例

今年度、千葉 RC からの推薦で、グローバル補助金奨学生として選出された關まり子さんの研究テーマは、ロータリーの重点分野「母子の健康」に関連する、「女性の健康」です。詳細につきましては、ガバナー月信 11 月号に記載されておりますので省略しますが、關さんは、留学先のユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの大学院にて、世界中の女性が安全に避妊・妊娠・出産・子育てのできる世界を実現したいという確固たる目標のもと、勉学に励まれております。

今年 1 月に入り飛び込んできたもう 1 つの嬉しいニュースは、柏南 RC 申請のグローバル補助金プロジェクトに対し、ロータリー財団の正式な承認が下りた事です。柏南 RC は、前年度に地区補助金を利用し、ケニアの小学校や児童施設などで教育支援の 1 つとして、日本人演奏家によるコンサートを開催されました。そしてその折に、現地のティカ RC との交流をスタート、ケニアにおける母子の健康という課題について取り組まれました。結果、妊娠中の母親と子どもの為に特に質の高い医療を提供するため、ケニア・カグンドゥイニ診療施設へ医療機器や備品を寄贈、併せてケニア保険局による医療従事者に対する研修を実施し、持続可能な施設の維持を目指すというグローバル補助金プロジェクトの申請に至りました。今般、地区補助金をきっかけにグローバル補助金に取り組まれる柏南 RC の皆様に心よりの敬意を表しますと共に、プロジェクトが順調に遂行され、最終報告をお聞きすることを楽しみにしております。

7つ目の重点分野 『環境』

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦 R C)

ロータリーの6つの重点に、7つ目「環境」が加わりました。「環境」と言いますと、家庭環境・教育環境・職場環境・生活環境等、コミュニティに特化した概念を捉えることが出来ますが、ロータリーが強調する「環境」は、私たちの住む地球が次世代以降も安全かつ永続的に引き継がれるための、より広範囲にわたる問題を捉えています。キーワードは何と言っても、気候変動です。

18世紀後半にイギリスで発生した産業革命以来、私たちは、石油や石炭といった化石燃料を燃やしてエネルギーを得てまいりましたが、大気中の二酸化炭素(CO2)濃度上昇などの様々な要因が絡むことで、気候変動が進行しているのはご周知の通りです。この気候変動により、気温や海水温が上昇し、北極海の海水域面積も減少しています。これらの結果、地域によっては干ばつ、あるいは短時間豪雨や台風の増加が起っています。一昨年の台風15号19号の被害は当地区を広い範囲にわたりを直撃し、2次災害としての土砂災害に加え停電や断水に、大変苦労をされた方々も多いと推察致します。世界中で発生するこのような災害を起因として、農作物の生育も影響を受ける事は否めません。特に発展途上国においては、食糧不足から栄養不良に陥る人々も増え、免疫力の低下による病気の蔓延も懸念の一つです。海中や陸における人間以外の生態系への影響も計り知れません。限りない負の連鎖が蔓延する状況です。振り返って思うと、私が小さい頃は、冬には関東圏でもそこそこ積もる雪の日が毎年1回はあったように記憶しています。夏も、クーラー無しで過ごせる年がありましたが、今では北海道でも夏のエアコン需要が伸びているとの事です。

気候変動への対処は、全人類が取り組むべき大きな課題ですが、まずは私達に出来る身近な事柄にフォーカスしていくことです。フードロスを減らすことで、ごみを減らすことが出来、ごみ焼却炉のCO2排出削減に繋がります。プラスチックごみは、特に海洋系生物への悪影響を及ぼしますので、

なるべく少なくなるように、かつ適切な処理が必要です。自家用車に代えて公共交通機関を利用することも良いでしょう(しかし現在はCOVID-19のため慎重に!)。家庭でも事業所でも節電を心がけることで、エネルギーの無駄を防止出来ます。

さて、ロータリーの重点分野とよく比較される、皆様にも既にお馴染みのSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。最近ではロータリアンの中でも、17の目標にちなんで17色の丸いバッジを身に付けていらっしゃる方も多くなりました。この17の目標は、気候変動問題はもちろん、貧困問題や教育問題、健康と福祉、水と衛生、ジェンダー問題、平和と公正、経済成長など、ロータリーの7つの重点分野と一致しています。17番目には、「持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」とあります。そしてロータリーのビジョン声明は、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」です。どちらも The Ideal of Service: 他人を思いやり、他人のためになるような実践・行動が求められているのです。新しく加えられた「環境」を含め、7つの重点分野に沿った、ロータリアンらしい行動を、個人でも、クラブ単位でも、お願い申し上げます。



補助金申請は活動の原点

柏南ロータリークラブ
奉仕プロジェクト委員長 小林 亘

一つの活動で二度の地区補助金を承認して頂きました。一度目は昨年度、当クラブのメンバーがケニアに渡航して、現地のこども達に何らかの支援を模索するための現地調査を行った時です。

そこでは実施国側ロータリークラブとしてティカロタリークラブとの出会いがありました。現地の交流会では、現存する薬局レベルの診療施設の出産医療機能と設備が充分でない為に新生児の生存率の低さが課題に挙がりました。「母子の健康」をテーマに援助国側ロータリークラブとしてグローバル補助金事業に進展させるとの約束をして帰国をし、申請手続きに着手しました。

しかし、施設そのものに電気が通っていない、窓枠が未完成などの状況が具体的になってきました。その修繕に100万円ほどの予算が掛かる事も解りました。そして、単なる“修繕費”はグローバル補助金申請の条件から外れるとの事で大きな壁が立ちました。

クラブ会計からの更なる拠出は会員の理解が得られないだろうという思案の中で、地区の財団委員の方に相談をしたところ、二度目の地区補助金の申請を提案して頂きました。2020年2月の事でしたので、申請の締め切りまで一ヶ月余り、大急ぎで手続きを進めました。

コロナ禍での承認待ちとなり、本体のグローバル補助金事業そのものが上手く進むのか懸念される中、ここで怯んではならないとチームメンバーが結束して臨みました。

7月に「カグンドウイニ診療施設リノベーション工事」としての承認を頂き、不足分はクラブ会計から拠出する事で一段落しました。このプロジェクトは薬剤機能しか持たない診療施設をリノベーションしてグローバル補助金を遣って設備の充填を図り、新たに出産機能を追加するためのものです。これは相手国側の女性メンバーが次のように提唱したことが始まりであります。「私は、コミュニティの

バックボーンは女性と子どもであると信じています。子どもが正しい環境で生まれれば、生存率は高く母親も正しい心理状態を保てるので、健全なコミュニティがつけられると思います。」この言葉を涙ながらに訴えてくれました。

当クラブとしては初めての国際人道支援活動の取り組みへと進んでおりますが、まだまだ道半ばであります。しかしここに辿り着くだけでも多くの出会いがあり、援助があり、感動がありました。

実施国側と援助国側とのパートナーシップによるグローバル補助金事業の仕組みについても知らないことばかりでありました。何より地区補助金とグローバル補助金は別物との認識で捉えておりましたが、そうではなく一体で活用するものだということを教えて頂き、視野が広がったように思います。地区補助金が承認され振り込まれ、それを相手国側に送金する際には大変な手間が掛かりましたが、相手国側より大きな感謝の言葉を頂戴し、確実に絆が深まったという実感が、その疲れを吹き飛ばしてくれました。

更に2020年1月14日未明に申請中のグローバル補助金が承認された旨の一報が届きました。いよいよ動き出します。これらすべては2790地区の会員に依る年次寄附より拠出された予算を遣わせて頂いている事を考えますと、地区内すべてのクラブに感謝の念と責務を果たす決意を改めて申し添えたく思います。

補助金申請は難しく面倒だという先入観がありましたが、活動の原点であるとの認識に改めました。



地区補助金を利用した奉仕活動報告

八千代中央ロータリークラブ
社会奉仕委員長 高山 公子

八千代中央ロータリークラブは今までクラブ単体での活動をしておらず、私が会長年度に女性の目線で社会奉仕ができないかとの思いで希望のプロジェクトを立ち上げました。きっかけになったのは孫の入院です。一日の大半を柵の付いたベッドで過ごしています。

小さな子供たちはママの手作りの簡単なおもちゃ等で遊んだりしますが、親の来ない子供たちは保育士さんの予約をして子供の相手をしてもらいます。

女子医大医療センター小児病棟には、プレイルームが東病棟、西病棟と有りますがほんの少しの本と玩具が置いて有りますが、子供たちが日々生活するには物足りない状態で少しでも子供たちが楽しい時間を過ごせたらとの思いから希望のプロジェクトをたちあげました。女子医大医療センターは八千代市をはじめ、習志野市、船橋市、佐倉市、千葉市と多くの子供たちが入院しています。

女子医大医療センターへの奉仕活動はロータリーをよく知らない地域の方々に、ロータリーを知って頂く良い

機会だと考えました。

最初はロータリー文庫を作り本の寄贈を考えましたが、病棟の方から本は消毒が出来ないのでDVDをお願いしたいとの希望から、ベッドから動ける子供たちの為に、テレビを2台、DVDプレーヤーを2台、東病棟と西病棟に設置し、ベッドから動けない子供たちの為に、ポータブルプレイヤー4台、病棟からの希望DVD12枚を寄贈させていただきました。

小久保会員（ロックアイスのコクボ）からも氷の秘密の本を数冊寄贈して頂きました。

今後の活動として八千代RC・ロータリー文庫の設置を目指し、まずは本年度、地区補助金を活用して本の消毒機を寄贈したいと思います。

その後は毎年本、DVDなどを寄贈して地域に密着した活動を継続していきたいと思っています。



地区大会におけるRI会長代理が決定致しました！



ほんだ ひろき
本田 博己 様
(前橋RC所属)

生年月日：1950年（昭和25年）3月生

勤務先：群馬ヤクルト販売株式会社 代表取締役会長

学 歴：国立名古屋大学文学部哲学科卒業

職 歴：1976年 株式会社福武書店（現ベネッセ・コーポレーション）入社。
辞典・書籍の編集に携わり、編集長・部門長を歴任。
1992年 群馬ヤクルト販売株式会社 取締役就任。常務・副社長・社長を歴任し、現在、同社 代表取締役 会長。

【ロータリー歴】

〈クラブ〉 1996年5月 前橋ロータリークラブ入会 〈地 区〉 2013年～2014年 ガバナー
〈全 国〉 2014年～2015年 ロータリーの友事務所理事（ロータリーの友委員会顧問）
2016年～2021年 日本のロータリー100周年実行委員会ビジョン策定委員会 委員長
2018年RI研修リーダー

RI会長代理（2016年：D2620、17年：D2610・D2700、18年：D2630、19年：D2510）

ポール・ハリス・フェロー（マルチプル）、ベネファクター、メジャードナー、米山功労者（メジャードナー）

「補助金管理の説明会」報告

国際ロータリー第 2790 地区

国際ロータリーのロータリー財団委員会 委員長 櫻木 英一郎 (千葉 RC)

【1】会場と Zoom のハイブリットで試行

1. コロナ禍の中に於いてハイブリットで多人数の会合を行う試みを実施しました。

当委員会が誇る技術スタッフ浅野、佐川、平野、松永各委員の「財団委員会 Zoom 班」の活躍などにより成功裏に終わる事が出来ました。

概要 2021 年 1 月 30 日 (土) 午後 1 時半～4 時
TKP ガーデンシティ千葉にて

出席 地区側 会場参加 漆原 摂子 ガバナーを始め、ガバナーエレクト (GE)、ガバナーノミニ (GN)、ガバナーデジグネート (GND)、ガバナー補佐 (AG)、地区委員長他 32 名 Zoom 参加 20 名

クラブ 会場参加 33 名 Zoom 参加 113 名
合計 198 名

【2】概略説明

2. 「補助金管理の説明会」という名称に変更した理由は以下です。

- ・従来は「補助金管理セミナー」と称していた。
- ・この「セミナー」という語には勉強会のニュアンスがあり、その為か今でも「セミナーから補助金申請の締切り迄があまりに期間が短いので事業計画が難しい」と言うクラブがある。
- ・当委員会は 9 月初旬にはロータリー財団セミナーを開催し、その中で補助金の説明もしているので、少なくともその時点から事業と資金の計画を立案して頂きたい。

本説明会で補助金の具体的な申請方法の説明を聞き、申請に入って頂く為という意味から本会を「セミナー」ではなく「説明会」に変更しました。

3. この説明会に参加する必要性について以下をご留意ください。

- ・補助金の原資は世界中からの寄付金が原資。
- ・世界中からの寄付金が国際ロータリー財団 (TRF) に集まり、その寄付金が補助金として交付される際には TRF の公金なので細かいルールがある。
- ・補助金を申請するに当たっては資格にも一定の条件がある。

① 補助金を申請する団体は補助金の説明会に出席する事。

② 申請団体は地区ロータリー財団委員会と MOU を交わす事。

これを資格認定と言います。

4. MOU (覚書) とは何でしょうか？

- ・補助金のルールを守る事を約束する誓約書。

- ・第 1 地区 MOU：地区ロータリー財団委員会が TRF と MOU を交わし、地区内のすべての補助金の管理と使用について責任を持つ誓約をする。

- ・第 2 クラブ MOU：各クラブが地区ロータリー財団委員会に同様の誓約をする。

この様にして補助金を使う全クラブに補助金のルールを認識して頂きます。

【3】補助金管理の説明会の概略

(詳しい内容は財団ハンドブックを参照してください)

司会進行 統括副委員長

小倉純夫 GND (松戸 RC)

5. 補助金に関する説明の概略を記載します。

●補助金と寄付金の説明

国際ロータリーのロータリー財団委員会

委員長 櫻木英一郎 (千葉 RC)

- ・グローバル補助金の重点分野は従来の 6 つに「環境」が加わり 7 つになった。
- ・これらの重点分野は日本では基本的人権に属する範疇だが、世界ではこれすら満たされない国が圧倒的である。
- ・寄付金の半分は国際財団活用資金 (WF) として世界中の困っている人に対する活動の補助金となる。
- ・国際組織であるロータリーでは世界に寄与する事が重要。
- ・寄付をしない事はこれを放棄する事になる。

●補助金の申請・審査と管理の説明

補助金プロジェクト小委員会

委員長 浅野 肇 (柏西 RC)

- ・補助金申請について、及び財務管理計画規定を作成し補完をするように説明した。

申請方法 必要な申請書類の原本を当小委員会に提出

申請期間 2021 年 3 月 1 日～3 月 31 日
(グローバル補助金は随時受付)

注意事項 当委員会の事前審査やアドバイスの期間がある事にご留意。
補助金として相応しくない事業についてはハンドブックを参照。

●地区補助金の審査について

職業・社会・国際奉仕統括委員会

統括委員長 水野晋治 (柏西 RC)

- ・行動計画の中の 4 つの優先的事項である「より

大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」に重点を置き、クラブからの申請を審査・評価する。

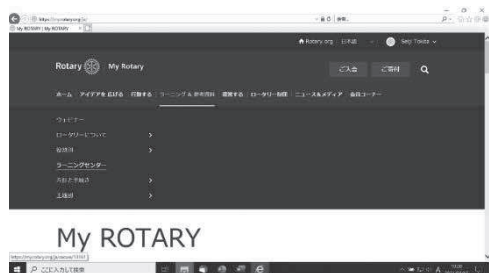
- ・外国のロータリーは重点分野に添った活動をしている。

● E ラーニングによるクラブの資格認定について 国際ロータリーのロータリー財団委員会

統括副委員長 時田清次 (市原中央 RC)

- ・ MYROTARY のラーニングセンターを選んで入ると「補助金管理セミナー」のラーニングを視聴できる。
- ・ 9つのコースから成る「クラブの認定資格」について説明した。

6. 財団プログラムの説明の概略を報告します。



ラーニングセンター画面

● 財団奨学生について

奨学生学友小委員会

委員長 冨 一美 (成田空港南 RC)

- ・ ハンドブックに従い地区補助金奨学生とグローバル補助金奨学生の資格・申請について説明した。

● ポリオプラスとロータリーカードについて

ロータリーポリオプラス・ロータリーカード小委員会

委員長 朱 孝 (習志野 RC)

- ・ ポリオ根絶活動の現状を説明した。

- ・ 数千年のポリオの歴史で見ると完全根絶は近いが、実際にはまだまだ遠い。
- ・ ポリオ根絶の活動資金に寄与するロータリーカードのクラブ加入を各クラブに依頼した。

● ロータリー平和フェローについて

ロータリー平和フェローシップ小委員会

委員長 安田 勝紀 (柏西 RC)

- ・ ロータリー平和フェローのビデオやハンドブックに従いフェローシップとロータリーの最終目標は「世界平和の構築」であることを説明した。
- ・ それを学ぶ平和フェローについて説明した。

【4】ご注意 グローバル補助金事業

7. グローバル補助金事業への WF 上乗せ率が 80%に下がります。

- ・ 従来のグローバル補助金事業 (奨学金を含む) への WF 上乗せは

①クラブ拠出資金には 50% (※これは既に本年度 7 月 1 日より廃止された)

②地区 DDF から拠出資金には 100%であり、1 月 30 日の本説明会でもこのように説明しました。

- ・ その後の 2 月 7 日に TRF から ②も次年度から 80%にするという変更通知が来ました。

(但し、一定条件のもとに主に 6 月 30 日までに TRF の承認を得れば上乗せは 100%の可能性あり)

- ・ これに関しては当委員会から各クラブに説明文書を配信してあるのでご覧ください。
- ・ 詳しい事は当委員会にご質問ください。



漆原ガバナー



司会 小倉 GND



浅野 委員長



冨 委員長



会場風景



朱 委員長



安田 委員長

コーディネーターNEWS

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心RC）

世界ポリオデーでロータリーのポリオ根絶活動をアピールしてください

世界ポリオデーでロータリーのポリオ根絶活動をアピールしてください

第1地域の公共イメージコーディネーターに昨年7月に就任しました。コロナ禍の最中なので、担当地域の地区大会や公共イメージの研修会にお声が掛かることも無いまま10カ月近く経過しておりますので、これまでの活動を紹介させていただきます。

RPICは日本の3地域に1人ずつおりますので、年度が始まる前からZoomの会議を頻繁に行い、日本全地区の公共イメージ委員長にアンケートを出して地区の実情を把握させて頂きました。その後、8月29日に全地区の公共イメージ委員長の研修会を開催しました。

開催4日前の8月25日にWHOがアフリカ大陸でポリオが根絶されたことを発表し、日本の新聞では27日の朝刊に掲載されました。朝日新聞朝刊の記事をみて驚きました。「ワクチン接種が予防に有効なため、ワクチンが行き届いていなかった国へ、国連児童基金（ユニセフ）や日本の国際協力機構（JICA）、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などが、子どもへの接種を支援してきた。」と記述されていて、ロータリーという名前を見出せませんでした。他の新聞でも同様でした。ロータリーの名前が日本の報道に現れなかった事が公共イメージ委員長研修会のQ&Aセッションで話題になりました。辰野理事がRIにアフリカ地域ポリオフリーに関するメディア報道についての見解を求めて下さり、また、辰野理事、原ARPIC（2600地区 長野）がNHKに働きかけて下さって、世界ポリオデーに2750地区（東京・グアム・ミクロネシア・北マリアナ諸島・パラオ）が開催するZoomでのバーチャル・チャリティコンサートが、10月23日のNHK TVニュースで紹介されました。

コロナ禍ということも有って、2021年度の日本のロータリークラブの世界ポリオデーの活動は活発とは言えませんでした。その中でも前述の2750地区のバーチャル・チャリティコンサート、2640地区（和歌山・大阪南部）の高野山金剛峰寺でのポリオ根絶と新型コロナ収束祈願法会、2770地区（埼玉南東）の京浜東北線川口駅前での大型ビジョンを使ってロータリーのコロナ根絶活動の紹介など、話題になる活動を実施して下さいました。

<https://rotaryblogia.org/category/%e3%83%9d%e3%83%aa%e3%82%aa/> に2020年10月24日に日本で行われたイベントの紹介があります。

日本のマスコミにロータリーがポリオ根絶活動をしていることを理解し報道して貰うためには、一般の多くの人々にロータリーが1985年にポリオ根絶の活動を世界で最初に提唱した組織であり、それ以来、組織を上げてポリオ根絶活動を継続していることを認知して貰う事が重要であると思います。そのためにはRIが推奨している10月24日の世界ポリオデーに日本の各ロータリークラブが行動を起こし一般の人々に伝えることです。

現在RPICとしては、公共イメージ向上と今年の世界ポリオデーの取組の重要性を次年度のガバナーと地区公共イメージ委員長にご理解頂くためのアンケート活動、研修会などを企画しております。ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 佐々木 千佳子（十和田RC）

世界ポリオデーでロータリーのポリオ根絶活動をアピールしてください

新型コロナウイルス感染症が確認されてからすでに1年が経ち、皆様のお仕事に、そしてロータリー活動にも大きく影響があるかと推察いたします。そして例会が今までとは違う方法での運営がされてるとお聞きしています。

この状況が早く落ち着きもっともっと活発な活動が出来る事を期待いたします。

コロナ禍に於いて、退会する会員が増える事を懸念いたしております。

各クラブとも会員増強があまり達成できていないクラブが多いと感じております。

私は女性会員として少しお話をさせて頂きます。

日本の女性会員の比率はまだ7%程度で推移しています。

何故？ 何が入会のハードルになっている？

2830地区で女性会員の集いを開催した時に意見を聞きました。

「やっぱり！」と思う事ばかりでした。男性の意識が変わらないと入会しにくいのです。

男性優位の感覚が無意識の中にあるのです。ロータリー会員は世界を視野に活動しています。男女平等、会員皆平等のロータリー精神で女性会員を受け入れて頂きたいと思います。

そして入会後には活動の場を与えて頂きたい。これは女性会員の心からの希望です。

現在 まだ女性会員の入会を認めないクラブもありますが、女性会員がいる事で活動に広がりが出てくる事は確かだと思います。まずは全てのクラブに女性会員がいる事を目指して入会を勧めましょう。初めての女性のRI会長が決定され益々女性活躍の時代が来たのではないかと感じます。女性の潜在能力を引き出してくださいのが男性ロータリアンの力です。よい事をしたい女性はたくさんいます。ロータリアンになる資格を持った女性は貴方のお近くに必ずいるはず。是非是非 お誘いください。

そしてクラブに会員増強と活性化の起爆剤になる事を期待いたします。

日本の女性ロータリアン10%を目指しましょう。

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー



高橋 清
(松戸北 RC)
3回目



中原 光男
(松戸北 RC)
3回目



並木 幸雄
(松戸北 RC)
3回目



井上喜久男
(市川シビック RC)
2回目



友野 斉
(館山 RC)
1回目



崎谷 延好
(松戸北 RC)
1回目



岡田喜三男
(市川シビック RC)

新ベネファクター

ポリオ・プラス

米山功労者



板倉 孝雄
(大網 RC)



妻島不三二
(柏南 RC)
8回目



長原 正夫
(成田 RC)
6回目



並木 幸雄
(松戸北 RC)
6回目



崎谷 延好
(市川東 RC)
2回目

新ロータリアン（敬称略）



村上 佳史
(千葉北 RC)
生命保険
1月7日入会



井上 静樹
(千葉北 RC)
プラント工事
1月7日入会



高橋 健太
(船橋 RC)
公認会計士
3月9日入会

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース（ハイライトよねやま251号）

今月のトピックス

- ・台湾米山学友会が総会を開催
- ・上海で米山学友会総会を開催
- ・寄付金速報 — 2021年はやや厳しいスタート —
- ・米山学友を中心とする衛星クラブが誕生！
- ・マレーシア学友会がオンライン勉強会

《今月のピックアップ記事》

2021年の年賀状は学友によるデザイン

第2570地区（埼玉県）で米山学友を中心とする衛星クラブ、和光21幸魂（さきたま）ロータリー衛星クラブ（スポンサークラブ：和光 RC）が12月21日付で認証を受け、誕生しました。

衛星クラブとは既存のクラブの中に作られるクラブで、8人の会員で結成が可能。国内には現在23の衛星クラブがあります。衛星クラブ会員はスポンサークラブの正会員ですが、独立して例会を開き、細則や理事会も独自のものとなります。

和光21幸魂ロータリー衛星クラブでは創立会員8人のうち6人が米山学友で、創立議長は同地区米山学友会会長も務める周大亮（シュウダイリョウ）さん（2011-13／秩父 RC）、幹事は陳伊涵（チンイハン）さん（2016-18／富士見 RC）です。

クラブ名の幸魂は、和光市に掛かる埼玉有数の橋、幸魂大橋に由来しています。2月13日の初例会は、緊急事態宣言下にあるため小規模で実施予定です。

都内でリラクゼーション事業などを展開する周議長は、新型コロナウイルスにより苦しい経営を余儀なくされています。しかしそれでも、「一番大変だった時期に奨学金をいただけたからこそ今の私がある。米山奨学金の醍醐味は、奨学期間が終わった後もつながり続けることができること。つながる形の一つとして、ロータリアンになる道もあるということを含め、後輩たちに自分の背中を見てほしい」と、話します。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight251_pdf.pdf

前年度災害支援残金使途内訳と地区災害特別基金のご報告

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度地区幹事長 吉田 理愛（勝浦 RC）

2019 年 9 月 9 日の台風 15 号、同年 10 月 12 日の 19 号及び同年 10 月 25 日の 21 号に影響する低気圧による豪雨にて、千葉県は甚大な被害を受け、それに対し地区内外からは多額の支援金を賜りました。これら支援金の分配について地区は、昨年諸岡ガバナー年度に災害対策特別委員会を立ち上げ、第 1 弾分として 50,520,000 円を地区内対象地域が属するグループ及びクラブへ配分し、2020 年 2 月号のガバナー月信にてご報告をさせて頂きました。最終的に地区へ寄せられました支援金合計金額は、61,766,842 円となりました。それらのご報告は昨年度の月信 13 号にて記載の通りでございます。今年度に入りまして、地区内外よりお預かりした支援金から、承認された佐倉市への台風災害支援金 300,000 円を差引いた残金 10,946,842 円（61,766,842-50,520,000-300,000）について、しかるべき支援を必要とした対象地域に第 2 弾分として公平に分配するにあたり、その方法を協議しました。具体的には県内の当該台風による被災状況を調べた結果、県内での全壊家屋数＝480 棟（注 1）とあり、その数値を支援金分配の参考指数（23,000 円 / 1 棟）とし、各市町村別全壊家屋数の比率により支援金を割り当て対象グループに以下の通り配分致しました。

（振込手数料及び不足分については地区資金より負担）

（注 1）千葉県 HP より参照

県内全壊家屋の数と自治体所属グループ別分配金

グループ名	全壊家屋数	支給額
第 3 G	14	322,000
第 4 G	76	1,748,000
第 5 G	83	1,909,000
第 6 G	252	5,796,000
第 7 G	12	276,000
第 8 G	5	115,000
第 9 G	3	69,000
第 10 G	32	736,000
計	477（注 2）	10,971,000

※第 3 グループは南房総市に寄付。

（注 2）辞退 3 件



館山市へ寄贈の様子（第 6 G）

これらの分配金は、それぞれ担当のガバナー補佐を通じて各市町村担当窓口へ無事にお渡しする事が出来ました。以上を持ちまして 2019-20 年度台風 15 号 19 号関連で地区へご寄付頂きました支援金は全て配分が完了した事をご報告いたします。

続いて、今年度 7 月の九州地方の豪雨災害に際しガバナー会より支援の依頼がありました義捐金として、第 2700 地区、第 2720 地区へそれぞれ地区災害特別基金の余剰金より 100 万円の寄付を行った事は、月信 9 月号にてご報告致しましたが、これにより地区災害特別基金の余剰金は既に底をつきました。地区としては今後、自然災害など有事の場合に備え、然るべき対応を迅速に行えるよう財務委員会の承認を経て、地区資金繰越金より 1,000 万円の災害特別基金口座への振替を行った事を合わせてご報告致します。

ガバナー事務所へようこそ

当事務所は、2014-15宇佐見透ガバナー年度よりガバナー事務所として常設され、2018-19橋岡久太郎ガバナー年度からガバナー及びガバナーエレクトの合同事務所として運営されています。ガバナーや地区委員会から地区内クラブへの伝達事項等を各クラブへ一斉メール配信を行ったり、ガバナー補佐会議や地区委員長会議等の会議開催までのサポートや地区内クラブからの問合せ等に日々、対応しています。

地区内の様々な行事予定は地区のホームページのカレンダーに随時登録をしていますので、是非ホームページをご活用ください。

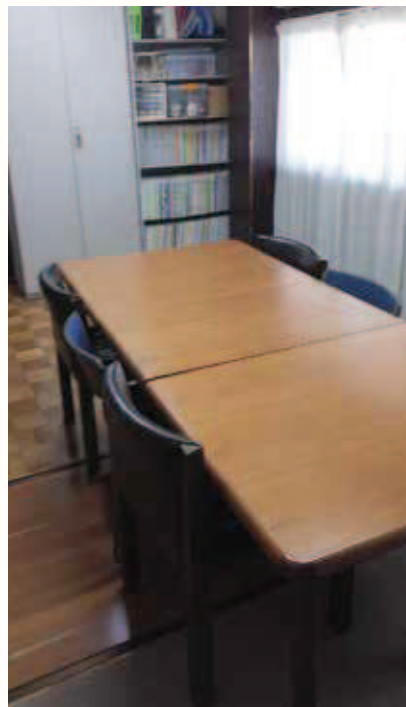
また、事務所内には会議スペースも有ります（事前予約制）ので、是非ご利用ください。

現在3名の職員で業務に対応しています。各クラブ様にはWEBでの会員数や出席率、新会員等の登録をお願いしていますが、その入力データは「月信」の後方ページに有る「出席・会員数報告」に反映されますので、是非とも期日までにご入力をお願いいたします。

事務所は千葉都市モノレールの「千葉公園駅」の前に有ります。事務所の1階が駐車スペースとなっていますので、ご利用の際は事前にご連絡を頂ければ、駐車場のシャッターを開けてお待ちしております。



左から竹井志麻子さん、主任 本田修さん、大山尋美さん



第2会議室



第1会議室

